

令和元年度 第5次高砂市総合計画市民説明会 & 意見交換会

市長発言要旨

発言の要旨

(市長)

- 多くの皆様からご意見が発表された。2分という発表時間の中で、うまくまとめていただいたと思う。
- ブライダル都市と看板を挙げているけど、ブライダル感がないと意見があった。ブライダル都市宣言をしているので、今まではそれを大事にしてきたけど、これからは新しい展開がないといけない。ブライダル都市は約20年前の話であり、それから大分経っているので、20年間ずっと同じことをしても意味がない。
- 市役所は市民生活の維持に最低限の仕事をすればいい、公共施設もそんなにいらないというような意見があったけれども、基本的な考え方として、市としてこれだけは最低限、公共施設はあるという考えもある。よその町にあるから、高砂市も作るのではなく、今後人口9万人あるいは8万人の時代で、その人口に応じた施設は、必要なものは必要だと思う。ただ、お金が必要で、維持なども大変なため、市民の方との合意を図り、どんな公共施設が必要かを決めて行く。
- 公共施設のうち学校について、高砂市は小さい面積の中に、小学校10校、中学校6校もあるというのは、ひとつの特徴であるが、それだけお金がかかるということである。この数は、必要であるという認識を持った中で現状であって、今後人口が減っていく中で、小中学校、幼稚園、こども園をどうするのが大きな課題となる。地域の方と十分な意見調整をする必要がある。
- 駅前に商業施設がないというご意見があったが、駅前整備・開発が必要だと考えている。今の状態では、「駅前」と呼べない状態であるため、今後は整備していくべき。
- 阿弥陀地区の自然を大切にすべきというご意見があった。自然は阿弥陀だけではない、各町にそれぞれあると思う。また、文化的な遺産に彩られたまちであり、残していかなければいけないものは、私たちの世代が後世に伝えていく、残していく必要がある。
- 阿弥陀町・北浜町にコウノトリが飛んできて、巣作りをしていた。コウノトリは5-10キロの行動圏があり、合計8羽も飛来した。コウノトリのまち、コウノトリが住める・住むまち、そのまちに高砂市民が共存できることが高砂市の自然環境の魅力の一つとして作れる。高砂市の自然に関して、これからもいろんな議論が出てくると思う。
- 高砂市の特徴が出てこないということは、特段に困ったことがないからとご意見があった。高砂市の目玉になるようなものは何かというと、市民の皆さんが私たちのアイデンティティは「これだ!」というような目玉を作るのが一つの方策だと思う。高砂市の財産は多々あるので、そういう財産を活かした目玉づくりを今後考えていく必要がある。
- 若い人との意見交換が少ない、若い人の存在感が点でしか存在しておらず、繋がって面になっていないという指摘を真摯に受け止めたい。総合計画を作る際にも、若い人に意見を聞くという方針で取り組んでいる。まちづくりに若い人に入ってもらうことも大事なため、一緒

になってこのまちを作っていくような取組が必要である。

- コミュニケーションに関して、今人それぞれの価値観が多様化している世の中で、コミュニティを作る難しさはだんだん増している。ただ、高砂市の一つの特徴として、自治会が地域を守っていくために日々活動をしているため、自治会の組織率が非常に高い。こうした点からもコミュニティ意識が十分あることを踏まえたうえで、今後施策を作っていく。
- 市の方から提案して、市民と一緒にやるという姿勢、仕組みを作るべき。
- 調整区域のまちづくりをどうするのかというなかで、真ん中だけ田んぼを残し、沿道は建物を建てられるようにしたい。計画の手続きに時間を要しているけれども、まもなくできると思う。一步ずつ、調整区域を活用していこうとしている。これからも伊保地区、そして曽根地区のところまで調整区域のまちづくりをしていく。
- この調整区域はA地区、B地区、C地区がある。A地区は先ほど申し上げた形になっている。そうしたら、BとC地区も同じことをすれば、各地区が繋がっていけるけど、同じことをしないで、例えばB地区とC地区を一緒にして、広い面積を使って、広い公園を作り、市民の皆さんが一日を過ごせる場所を作るのも一つの方策だと思う。
- 緑あふれるまちづくりなので、公園などを十分整備していく必要がある。小・中学生から「遊び場がない」とよく聞くので、そういう意味でも公園・広場整備は今後の一つの課題となる。
- 市の補助金は必要だと思う。市の行政だけで、まちづくり、コミュニティづくりはできないと思う。できたとしても、全体に浸透できないだろう。地域の皆さんと一緒にやって初めて、施策が浸透し、また維持していく。すべてボランティアの形ではなく、市として皆さんと一緒にやって、市が経費を出す制度が必要である。今は未来戦略推進活動支援補助金で市民活動を支援している。民間の方にやっていただくことなので、補助金を出していたが、市と一緒にやることにも、補助金を出す体制づくりが必要。
- 全てのご意見に回答できていないかもしれないが、本日のご意見を整理し、総合計画を作っていくうえで、活用させていただきたい。これから総合計画が出来上がってくるので、その時にパブリックコメントなどで、ご意見をいただきたい。総合計画が作成した後も、施策を実現するために、皆さまとともにやっていきたい。
- 高砂市の10年後をテーマとした小学生の絵に描かれている人物は全て笑顔であり、中学生・高校生の作文からは、全ての市民が暮らしやすさ・住みやすさを求めていると感じた。
- ご意見を受けて、これから取り組む姿勢を申し上げさせていただいた。本日はありがとうございました。

以上